

テキスタイルの一般的なお取り扱いの注意

このサンプル帳商品をご使用いただくにあたり、商品の性能を充分に発揮させ、安全にご使用いただくために、下記の説明を必ずお読みください。

平織・ジャガード

- 1.) 太番手糸で織った織物は、縫しろを多く取って裁断し、縫製にご注意ください。
 - 2.) 裁断加工時は、特に方向性の統一にご注意ください。
 - 3.) 原反裁断後の残布、梱包資材等は燃やさず、産業廃棄物条例に従って処分してください。
 - 4.) ロットによりサンプル生地と実際の色が多少異なる場合があります。
 - 5.) 薬品、接着剤等により、変色する恐れがありますのでご注意ください。
 - 6.) お手入れは、定期的に電気掃除機でゴミを吸い取るか、柔らかいブラシでブラッシングしてください。
 - 7.) 原反が汚れた場合は、お湯でうすめた中性洗剤で汚れを落とし、固く絞った蒸しタオルで洗剤分をよく拭き取り、カラ拭きしてください。
- (吸水性のある布でやさしく拭き取ることがポイントです。)

ベルベット・モケット

- 1.) ベルベットの硬さに適したミシン針を使用するようにご注意ください。
- 2.) 原反の裁断後の残布、梱包資材等は燃やさず産業廃棄物条例に従って処分してください。
- 3.) ベルベットは見る方向で色が異なって見えます。パイル表面の毛並(方向性)を注意して裁断、加工してください。
- 4.) パイル面、裏面にアイロンを当てないようにしてください。表面形状変化、変色、パイル抜けが生じます。
- 5.) 原反が汚れた場合、中性洗剤をぬるま湯でうすめ、きれいなタオル等をかたくしづら汚れ部分を軽くたたいて落としてください。場合によっては、パイルが起きないことがありますので、ご了承ください。ただし、溶剤系の薬品は使用しないでください。

ニット

- 1.) 縫製上の注意
 - ・16番以下の細いボールポイント針を使用し、40番以下の細いナイロン・ビニロン等、化合繊糸を使用してください。
 - ・縫い目を最大限粗くし、同一箇所でのミシン針の上下動はさせてください。
該当商品：ラパスⅡ、ジェイモード、シルキーべロア、インプレッションズ、プレステジリア、ガーデン
- 2.) 方向性による外観不具合の注意
スエードタイプの基布は見る方向で色相が異なって見える場合があります。方向性を確認して裁断加工してください。
該当商品：ラパスⅡ、トゥループレックス®・パイル、シルキーべロア、インプレッションズ、プレステジリア、ガーデン
- 3.) ロットによる色相ぶれの注意
裁断加工時は必ず同じロットまたは反内裁断を徹底してください。ロット違いの裁断は色相ぶれの発生が懸念されます。
- 4.) 電気掃除機を使用して、定期的に汚れ、ホコリをお取り除きください。

その他の注意

- 1.) 荷扱い時の注意
 - ・ロール状原反は重量物なので、人手による荷扱いにはご注意ください。また、フォークリフトなどへの過積載や片積みは危険です。絶対におやめください。
 - ・輸送、保管時には荷崩れ防止策を講じてください。多段に積むと荷崩れを起こしやすく、けがをすることがあります。
 - ・原反はトラックの荷台など高いところから落とさないでください。原反に傷が付くだけでなく、作業員がけがをする恐れがあります。
- 2.) 保管時の注意
 - ・原反に傷、クセ、しわなどを付けないよう、置き方にご注意ください。
 - ・直射日光の当たる場所に保管しないでください。表面変化、収縮などが生じることがあります。
 - ・高温・多湿のところや水のかかるところに保管しないでください。
 - ・原反は、立てる事のないよう保管願います。
- 3.) 廃棄時の注意
原反裁断時の残布、梱包資材等は燃やさず産業廃棄物条例に従って処分してください。

※個々の商品のお取り扱い事項は、商品ページに記載している説明をご参照ください。

※商品及びご使用方法について不明な点がございましたら、弊社営業係員にお問い合わせください。

人工スエード

- 1.) 人工スエードの基布は見る方向で色相が異なって見えます。
方向性を確認して裁断、縫製してください。
該当商品：ディナミカ®
- 2.) 軽い汚れには中性洗剤をぬるま湯で10倍程度にうすめて軽くたたいてください。
- 3.) ホコリなどの汚れにはエチケットブラシで軽くブラッシングしてください。
- 4.) 表面に直接アイロンを当てますと表面形状変化が生じる場合があります。
- 5.) 水洗いをする場合は、中性洗剤をお使いください。塩素系漂白剤による漂白はできません。洗剤が残らないようにすすぎを充分にし、日陰で吊り干しにしてください。
- 6.) 必ず反内縫製をしてください。
- 7.) 一方向に延反、型入れしてください。
- 8.) 縫直しは避けてください。
- 9.) アイロンマット・当て布は、共布か、フェルト等、布目のない物をご使用ください。